

今週のトピックス

～手足口病～

夏の暑い時期に小児を中心にはやっている感染症の1つです。



どのような病気ですか？

口の中や、手足に水疱を伴う複数の発しんが出る感染症です。

小児を中心に、主に夏に流行します。感染症発生動向調査によると、

2歳以下が半数を占めますが、小学生以上でも流行的発生がみられることがあります。

感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足の甲等に2～3mmの水疱を伴う複数の発しんが出ます。発熱は、38度以下のことが多く、ほとんどの発病者は、3～7日のうちに治る病気です。

まれに、髄膜炎、小脳失調症、脳炎といった中枢神経系の合併症のほか、心筋炎、神経原性肺水腫、急性弛緩性麻痺等、重篤な合併症を伴うことがあります。

どのように感染しますか？

感染経路は、飛まつ感染、接触感染、糞口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。

特に、手足口病にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園等では注意が必要です。

どのように治療・予防できますか？

特別な治療方法はありません。

基本的には軽い症状の病気のため、

経過観察を含め、症状に応じた治療となります。

まれに髄膜炎や脳炎といった中枢神経系の合併症や

心筋炎等が起こる場合があるため、

経過観察をしっかりと行ってください。

アルコールが効きにくいので、

手洗いをしっかりと、タオルの共有は避け、

排泄物を適切に処理してください。

特に、保育施設等の乳幼児の集団生活では、

感染を広げないために、職員とこども達が、

しっかりと手洗いをすること、おむつを交換した後は、

排泄物を適切に処理し、流水と石けんで十分に手洗いを

してください。



手足口病は、治った後も比較的長い期間便の中にウイルスが排泄され、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合もあると考えられることから、日頃からのしっかりと手洗いが大切です。

まだ有効なワクチンや予防薬はありません。

手足口病感染症対策チラシ（以下ホームページ内に掲載）についてもご参照ください。

厚生労働省
手足口病_感染症対策チラシ

厚生労働省 手足口病

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>